

留学先: セントメアリーズ大学(カナダ)

留学期間: 2022年10月~2023年10月

カナダでの1年を終えて



みなさん こんにちは。先月の10月までカナダのセントメアリーズ大学の語学センター(TLC)へ語学留学に行っていた大鳥です。

私は在學生ではなく、城西大学を卒業した者なのですが、幸運にも城西大学の卒業生向けの留学システムを利用させて頂き、1年間英語力の向上に励むことが出来ました。

最初に、私がこの留学をするに当たって決めた目標は、日常生活だけでなく職場においても英語を使用できるだけのスキルを身に付けるというものでした。そして結論からいうと、当初に定めた目標を達成することが出来たと実感できています。

初めてのセメスターでは、いきなり全てが英語だけの授業が始まり(当たり前ですが)、先生の説明なども大体しか理解することが出来ず、あたふたと受けていた気がします。それ以降もリスニングに関してはこの留学を通して一番苦労した点でした。

1セメスターは約2か月ほどあり、クラスはほとんどが日本人でしたが、韓国の方達も数人おり、すぐに友達になることができ段々とリラックスして授業を受けることが出来るようになりました。結局、セメスターの最後に次節は1つ上のクラスに行くことを止め、1つ下のクラスへ移動することを決めました。そして、この選択は成功だったと実感しています。少し簡単なクラスで過ごすことで、英語を話す以前に大切な自信を身に着けることができ、そのおかげで以降のセメスターを順調にランクアップさせていくことが出来たと思います。



私が受けたEPPC(英会話)コースは大体5~6のレベル別のクラスがあり、さらに1週間はお試しの期間として設けられているので、自分に適していないと感じた場合は申請すればクラスの変更も可能なのでその点はとても柔軟なシステムだと感じました。また先生の中には、彼ら自身、第二言語として他言語の習得を行っている方達もいるので、例えば

スニングやスピーキングスキルの向上に関しての質問をすれば、自分が使っているツールを紹介してくれたり、帰国してからも有益に語学スキルを向上させる方法など生徒目線からのアドバイスを提供してくれます。

以上の環境のおかげで、帰国の段階になった際には、「これ以上 TLC でやることはない」と思える状態まで持っていくことが出来ました。



海外で長い期間を快適に過ごすことが出来た 1 番の理由は、ホストファミリーとルームメイト達のおかげでした。私のことを本当の家族の一員として優しく接して頂きました。毎日の夕食の時間には全員揃って食事をするのですが、必死に彼らの会話を理解しようとリスニングの練習をしていました。その習慣のおかげか、段々と会話にもついていくことが出来るようになり、日本とカナダの文化についての違いなどをホストファミリーと話し合ったりすることも出来るようになりました。

私が暮らしていたハリファックスは、真夜中などを除けば危険を感じることもなく安全に過ごすことが出来ました。また、移民を多く受け入れているからか、多少英語が拙くても街の人々も理解しようとしてくれるので、学校の外でも英語を話してみようと後押ししてくれる環境だと思います。TLC では日本人をはじめとしてアジア人がほとんどですが、街中では全く日本人を見かけることはないのも、どっぷりと英語圏での生活に浸かることも可能です。



社会人として1年間という時間を消費することは決して簡単な決断ではありませんでした

が、それ以上の出会いと経験を得ることが出来たので、その決断は間違いではなかったと確信しています。それと同時に、目標を達成することが出来、少しほっとしております。

この留学を通して得た多くの自信を忘れずに引き続き次の目標へ向かって励んで行きたいと思います。

